

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回福津市エコショップ推進委員会
開催日時		令和6年3月15日（金）13:30～15:00
開催場所		福津市役所本館2階 庁議室
委員名		（1）出席委員 蒼田 徹、鈴木 亜希子、吉住 英信、 木村 真知子、原 修一、長濱 幸一
所管課職員職氏名		市民共働部うみがめ課 うみがめ課長 芹野 眞里子 環境づくり係長 権現 陽子 環境づくり係 茶原 翔太
（ 会 議 ）	議 題 （内 容）	・報告第1号 令和5年度の活動報告について ・その他 令和6年度の活動予定について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	0人
	資料の名称	・会議次第 ・報告第1号 令和5年度活動報告について ・令和5年度福津市エコショップ認定事業所一覧 ・福津市エコショップ認定制度の紹介 ・エコショップ(ゆめマート福津・西野木材株式会社・イオンモール福津)にインタビューしました！ ・令和5年度エコショップ推進事業報告書 ・その他 令和6年度活動予定について
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法 会長による署名・押印
		署名 _____ ㊟
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

2. 資料確認

3. 会議録の確認

蒼田会長 福津市公開会議の規定により第9条第2項の規定により、会議録確認を鈴木副会長に依頼

4. 委員会の成立宣言

委員7名のうち6名出席。エコショップ委員会規則第5条2項の規定により本日の委員会が成立。

5. 傍聴 なし

6. 審議

事務局 令和5年度の活動報告について説明

- ・エコショップ認定事業所(R5.7.5現在)⇒73店舗  
令和5年度エコショップ新規申請事業所⇒42店舗
- ・Facebook、LINEや広報でのエコショップ認定事業に関する記事の掲載
- ・インターネット上にエコショップマップを作成  
認定事業所の場所、取り組み内容などがわかるよう、エコショップHPに掲載
- ・全事業所に対し、福岡県の地球温暖化対策に関する情報を掲載している「ふくおかエコライフ応援サイト」を案内
- ・ペーパーレス・オンライン化の推進  
オンラインでの実績報告・認定申請の呼びかけ

事務局 追加資料についての説明

- ・要綱改正について
- ・実際の取組を具体的に知るため、活動報告の様式を変更する

蒼田会長 質問やご意見はありますか

全員なし

蒼田会長 商工会の方も廃業になる企業が多いため、新しく商工会に入ってくる企業には積極的にエコショップに入ってもらいたいと思っている。

事務局	<p>令和6年度の活動予定について説明</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度を取組を継続していく</li> </ul> <p>① Facebook, LINE や広報でのエコショップ認定事業に関する記事の掲載・・・認定事業所にインタビューしたものを掲載する</p> <p>② 事業所への情報提供・・・アドレスがある事業所に食品ロス、省エネ情報などを不定期で提供する</p> <p>③ ペーパーレス・オンライン化の推進</p> <p>・エコショップマップの活用</p> <p>・エコショップのありかた</p> <p>エコショップの制度も長くなってきており、時代にあった改革ができないかということを考えている。</p> <p>脱炭素や温暖化対策等、福津市もこれから取り組む予定であり、エコショップのあり方も検討していきたい。</p>
蒼田会長	何か質問や意見はありますか。
原委員	福津市では脱炭素の取り組みが遅れているという話だが、具体的にどんなところで遅れているのか。
事務局	全国の市町村で脱炭素に関する計画をつくっているが、福津市はまだ取りかかされていない。
木村委員	エコショップの目的とは、成果が見えてこない。食品ロスやCO2の具体的な削減値等は、いただいた報告でどのようにして測るのか、という疑問を感じていた。
事務局	今後このまま継続すべきかどうかも含めて、検討の時期だと考えている。
蒼田会長	商工会に入るメリットはすごくある。エコショップについても福津の極みのようにステータスとなっていけば。
木村委員	エコショップの制度はそもそも事業所のほうを見ているのか。消費者のほうを見ているのか。
事務局	要綱の目的としては両方。
鈴木副会長	最初は周知啓発に重きを置いてスタートしたが、既に実践しなければならないというステージになっている。
吉住委員	SDGs と合わせてエコショップを考えることはできないのか。

事務局	関係しているが、どのように結び付けられるかはこれからの検討でしょうか。
鈴木副会長	あり方を検討するのであれば、方向性を共有できた方がいいのでは。今後の審議会の運営上、自分たちも参加できる勉強会があれば理解の手助けとなるのでは。
事務局	令和6年度は市職員が脱炭素について共通認識を持つための勉強会になる。ただ、どのような検討をしたのか等の報告はできると思うので、共有していきたい。計画策定段階になれば市民参画の場が出てくると思う。現実のワークショップはR7以降だと思う。
吉住委員	市民や事業所にも、地球温暖化や脱炭素につながる行動をすることで得られるメリットが必要。
鈴木副会長	消費者のアクションにつながるように、CO2をどれだけ削減したかなどの具体的な数字も示していかないといけない。事業者には事業者むけに何か示すべき。
木村委員	削減した数値が必要だが、大規模店では数値化できるのに対して、小規模店では難しい。大規模店と個人経営とかを業種でくくってしまうのは無理がある。
事務局	エコショップが何を目標とするのか、どのような方向を向いていくのかは議論していく必要がある。
令和5年度第2回福津市エコショップ推進委員会終了	